

いなべ市内小中学校の中で初めて、推進パートナーになってくれた藤原中学校の皆さん。代表として、生徒会の皆さんにSDGのこと、またいなべ市のことについてインタビューをさせていただきました。

—SDGを学んでから、自分の行動や考え方が変わったことはありませんか。

生徒Aさん「ポイ捨てされているゴミを見かけたときの自分の行動が変わった。前までは、ゴミがあっても見て見ぬふりしていたけど、今は落ちているゴミを拾うようになった。」

生徒Bさん「僕は好き嫌いがあって、前までは給食をたくさん残していたけど、SDGのことを知ってからは、残す量が減った。」

—いなべ市の、どんなところが好きですか。

どんなところが魅力的だと感じますか。

生徒Aさん「いろいろな施設にユニバーサルデザインが使われているところが素敵だと思う。」

—例えば、スロープとか？

生徒Aさん「そうですね。」

生徒Cさん「私は、いなべ市は挨拶に溢れているところが素敵だと思う。挨拶したら必ず返してくれる人がいる。例えば学校に行く時とか、外に

出た時に声をかけてくれる人がいるのはすごくうれしい。私もそういう大人になりたい。」

生徒Bさん「服の力プロジェクト」のとき、地域の人たちがとても協力的だったこと。このプロジェクトは生徒が発案したものだったんですが、地域の人たちにも協力を頼みたかったので、コミュニティスクールを使って情報を共有しました。その時の情報が伝わる速さに驚きました。」

“みんながSDGsを知って、藤原町からいなべ市へ いなべ市から、もっと広い世界へ—どんどん広がってほしい”



—これから先、どんないなべ市だったら、住み続けたいと思いますか。どんないなべ市であってほしいですか。

生徒Cさん「限りある自然をみんなが大切にすまちがいです。」

生徒Dさん「僕は、みんながもっとSDGを知って、藤原町からいなべ市へ、いなべ市から、また広い世界へ…。そんなふうに、どんどん広まっていけば、もっと良い町、良い環境になっていくと思う。」

—藤原中学校の皆さん、ありがとうございました。

